

第2期（平成21年度～23年度）

天王寺区地域福祉アクションプラン〔愛称 愛あいプラン〕の推進

愛あいプランの基本理念・基本目標・具体目標のキーワード〈交流・情報・人材・気づき〉と、21年度の取り組み評価を踏まえ、引き続き、推進委員会・部会・班会（高齢・障がい・子育て）、実行委員会等を中心に課題の解決に向け、公私協働により具体取り組みを推進します。

推進課題

- 1 参加・交流・気づき 「地域の輪づくり」
- 2 情報の共有化「ホームページや広報紙の活用促進」
- 3 団塊の世代を地域につなぐ「団塊世代へのアプローチ」
- 4 共に助けあいまちづくり「要援護者へのネットワークづくり」
- 5 人づくり・仲間づくり・福祉の風土づくり

平成21年度に取り組んだ内容

交流

子育て家庭や高齢者、障がいのある方への情報の提供や福祉相談を行うとともに参加体験型の催しを通じて、住民同士の交流を図ることで、つながりの輪が広がってきています。

- 第4回 愛あいふれあいまつり（●10月／●延べ参加者数 755人）
- 第4回 子育て愛あいフェスティバル（●8月 ※今回はインフルエンザのため中止／●第3回の延べ参加者数 1,089人）
- 子育て支援サークルの拡充（●区内全地区で毎月開催／●延べ参加者数 4,206人）
- 親育ち講座の開催（●3回／●延べ参加者数 191人）
- 地域で「ポッチャ大会」開催（●3回／●延べ参加者数 278人）



年齢、障がいの有無を超え、誰でも楽しめるスポーツです。（パラリンピック正式種目）

情報

地域の福祉活動や情報をみんなで共有するため、情報発信をきめ細かく行いました。

- 区社協広報紙「ゆうあい」の発行、区社協・区役所ホームページに活動報告・団体紹介など随時掲載
- 第2期天王寺区地域福祉アクションプラン推進リーフレット（21年度概要版）の作成



人材

一人ひとりが地域活動に参加できるよう、ボランティアの育成講座の開催や活動を支援しました。

- 保育ボランティアの育成と登録（●登録者数 21人）
- 乳幼児健診などで活動中
- 地域行事や活動を取材、ミニ情報紙を発行。
- 団塊世代ボランティアグループ「天王寺プレス」誕生（●会員数8人）
- シニアボランティアグループ「おもちゃのチャチャチャ」（20年度結成）（●会員数18人）
- 天王寺区ジュニアクラブ活動の支援（18年度発足）（●年5回／●会員数 159人（小学5年生～高校生））

ボランティア活動、区内の施設体験を通じて、まちへの愛着とボランティア精神を育み、次世代の地域活動者を育成。

「手作りおもちゃ講習」を通じて、地域のふれあい活動などで活躍。

気づき

まちのことや高齢者・障がいのある方のことをもっと知る機会を持てるよう取り組みました。

- 愛あいふれあいまつりで「障がい当事者の体験談」と「盲導犬の紹介パネル」の展示
- 障がいのある方へのアンケートを実施（●回答者数230人）

- 「安心安全カード（天王寺区版標準モデル）」の作成

一部を拡大

緊急時に自分自身の生命を守るとともに、地域での助け合いの輪を広げることに役立ちます。

安心安全カード 記入日	
氏名	記入日
年齢	性別
連絡先 (宅)	なまえ でんわ
連絡先 (公)	なまえ でんわ

地域交流や生活上の問題、災害時の支援などについてアンケートを実施しました。



情報

地域につながる活動や人の紹介、ホームページの充実、情報発信方法の再考

- ホームページに会議報告掲載
- 迅速な事業等の紹介
- ポスター掲示やチラシ設置先の開拓
- 障がいへの理解促進につながる啓発活動
- 地域の様々な福祉活動等の発表会

天王寺区地域福祉アクションプラン

愛あいプラン

共に助けあいまちづくり・要援護者のネットワークづくり

- 安心安全カード（天王寺区版）の普及と検証
- 地域の住民懇談会開催支援
- 障がいのある方のアンケート調査結果から課題の整理と解決に向け検討

気づき

世代・障がいの有無を超えて地域での交流の場づくり、子育て支援環境の拡充

交流

- 愛あいふれあいまつりの開催
- 子育て愛あいフェスティバルの開催
- 地域でポッチャ大会開催の協力
- 子育て支援サークルの拡充
- 小・中学生の生活課題やニーズの検討

平成22年度の重点取り組み

- 継続
- 新規

人づくり、仲間づくり、団塊世代の地域デビュー

人材

- 登録保育ボランティアの活動の充実
- 団塊・シニア世代対象の「ふれあい塾」の充実
- 団塊・シニアボランティアグループと地域交流の拡充
- 地域ニーズにあったボランティア活動の拡充

継続取り組みへの支援

- ジュニアクラブの運営協力
- 保育ボランティアの育成と登録
- あいさつ運動の推進

「あいさつを 交わす街角 明るい未来」（平成19年度入選標語から）